

事業番号	09 06 03	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	■点検
事業名	農村の農業活動と活性化を支援する事業	部局	農政部	課・室	農村振興課	
		実施期間	H12 ～	E-mail	noson @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・人口減少や高齢化は特に中山間地域の集落で都市部に先駆けて進行し、今後も農業者や農村人口の大幅な減少が見込まれる中で、農家個々の農業生産活動だけでなく、共同活動の低下や農村コミュニティの衰退により、良好な景観の維持や農村文化の伝承が困難となり、暮らしの場として不可欠なサービスの弱体化等も一層進む事態が懸念されている。
・持続可能で豊かな暮らしを実現する農村づくりを進めるため、農村の持つ価値や魅力を活かし、地域住民に加えて都市住民などの農的つながり人口を創出・拡大することにより、多様な人材の農村への誘致・定着を進め、地域の農業生産活動及び共同活動の活性化を図る必要がある。

2 事業目的

農村地域において、農家のみならず非農家の住民など多様な人と協力しながら地域ぐるみで行う共同活動により、持続的な農業生産活動と農村コミュニティを維持するとともに、農村の多様な資源を活用した都市農村交流や高付加価値農業など農業者の主体的な取組を支援し、農村の活性化をめざす。

3 事業目的を達成するための取組

①中山間地域農業直接支払事業の活用を促進
・共同活動を継続できる体制を構築するため、集落協定の統合（広域化）に加え、集落協定間での活動連携（ネットワーク化）を支援
・リモコン式自走草刈り機やドローン等を用いたスマート農業による作業効率化に向けた意欲的な取組を支援
②農山村地域での都市農村交流の促進に必要な施設整備による地域活性化
・都市農村交流施設等の整備を農山漁村振興交付金により支援
③中山間地域の農村コミュニティを維持・強化するため地域の特色・特産品を活かした活動を促進
・地域別農業振興計画に基づく収益力向上・販売力強化及びデジタル技術の導入等を推進する取組を後押しし、優良事例を創出
・県内の農村型地域運営組織（農村RMO）形成を推進するため、新たな対象地域を3地域追加して活動を支援
・中山間地域の魅力を創出するため、その地域住民が主体となって取り組む独自性の高い活動等を支援

4 成果指標

（推移の凡例 ㇏：改善 ㇎：悪化 ㇏→：変化なし ー：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	集落等が中山間地域で農業生産活動等を行う協定面積	ha	9,236	9,246	↗	8,853	↘	9,252	未達成	対象農用地面積に対する協定締結面積の概ね 8 割を目標として設定。
②	地域間交流拠点施設等の整備数	件	-	-	-	-	-	3	未達成	市町村等からの要望調査に基づいて目標を設定。
③	農村型地域運営組織数	組織	3	5	↗	7	↗	8	未達成	市町村等への聞き取り調査等から、農村 R M O の形成が想定できる地域を推計し目標として設定。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
3-1③	地域活力の維持・発展	地域運営組織数	団体	2023 (R5)	255	2024 (R6)	265	2025 (R7)	278	2027 (R9)	289
3-1⑤	移住・交流・多様なかかわりの展開	都市農村交流人口	人	2023 (R5)	403,358	2024 (R6)	436,708	2025 (R7)	511,040	2027 (R9)	690,000

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	0	1,560,788	△ 247,228	1,313,560	432,060	1,283,998	9.0
R6年度	0	1,399,781	△ 79,393	1,320,388	445,984	1,309,960	9.0
R5年度	0	1,444,951	△ 127,143	1,317,808	444,211	1,298,473	9.0

事業番号	09 06 03	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）			☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	農村の農業活動と活性化を支援する事業			部局	農政部	課・室	農村振興課	

7 主な取組実績と成果

①中山間地域農業直接支払事業の活用を促進

市町村担当者を対象とした研修会等により、本事業の周知や協定農用地の維持・拡大を呼び掛けたほか、集落の話し合いに基づく協定により、5 年以上継続して行われる農業生産活動に対して支援を実施した。（69市町村 944協定）
また、今年度から新設されたスマート農業加算の導入を支援するため、スマート農業機械の展示会を 2 月（長野市）、3 月（飯田市）に実施した他、スマート農業加算の活用を促進するための手引きを作成し、配布した。（展示会来場者数約 350 人、冊子制作数：2,500 部）

②農山村地域での都市農村交流の促進に必要な施設整備による地域活性化

・予定されていた都市農村交流拠点施設については、計画の見直し等により、本事業は活用しないこととなったため、本予算の活用はなかった。

③中山間地域の農村コミュニティを維持・強化するため地域の特色・特産品を活かした活動を促進

・5 市町村において、収益力向上・販売力強化及びデジタル技術の導入等を推進する取組を後押しし、優良事例を創出した。
・5 市町村における農村型地域運営組織（農村 RMO）の形成に向けた取組に対して支援を実施した。
地域住民の話し合いをもとに、地域の目指す姿を描いた「将来ビジョン」の策定や、令和 5 ～ 6 年度に策定された将来ビジョン実現に向けた実証活動や施設整備等を進めた。
・地域資源を活用した住民主体の活動を支援し、中山間地域の魅力創出と活性化を進めた。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	集落等が中山間地域で農業生産活動等を行う協定面積	R6年度推移	↗	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
前年度と比較し 393ha の協定面積減少となった。第 6 期対策の初年度となり、対象要件等、制度の変更が協定面積の減少に影響したものと考えられる。							
指標 ②	地域間交流拠点施設等の整備数	R6年度推移	-	R7年度推移	-	達成状況	未達成
要望調査時点では農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）により都市農村交流拠点施設を整備予定だったが、計画の見直し等により、本事業は活用しないこととなったため、本事業による令和 7 年度中の整備数は 0 となった。							
指標 ③	農村型地域運営組織数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	未達成
令和 4 ～ 6 年度に農村 RMO 形成推進事業に取り組んだ 5 地域に加え、令和 7 年度当初時点で農村 RMO 形成を希望する地域が 3 地域あったが、事業内容を精査していく中で 1 地域は事業に取り組むには至らなかったため。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

・中山間地域農業直接支払事業について、協定構成員の高齢化や人材不足を理由に、小規模集落を中心に協定の廃止が進んでいることから、将来に向けて農業生産活動が継続的に行われるための体制づくりを構築する必要がある。
・農村型地域運営組織形成推進事業の交付期間は最大 3 年間であるため、形成された農村 RMO が、交付期間終了後も自走して活動できるよう、持続可能な体制づくりが求められる。
・事業全般として、市町村等の事業実施主体の要望に対する適切な予算執行が求められる。

(2) 事業改善の方策

・集落協定同士のネットワーク化等を支援することにより、協定農用地の維持・拡大に取り組んでいく。
・スマート農業加算の適用によるスマート農業機械の導入を促進することで、中山間地域における農作業の効率化・省力化を推進する。
・農村型地域運営組織形成推進事業では、令和 8 年度は県域の農村 RMO コーディネーターによる各地域への伴走支援に加え、他県等の先進事例を収集しながら持続可能な伴走支援体制の構築を目指す。

事業名	農村の農業活動と活性化を支援する事業	部局	農政部	課・室	農村振興課
-----	--------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	中山間地域農業直接支払事業		1,267,132 千円	1,265,978 千円	1,241,334 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	中山間地域農業直接支払事業交付金	交付金	中山間地域の協定面積等に応じて交付金を交付（交付先：市町村） 市町村数：69 面積：8,853ha 協定数：944		
2	中山間地域農業直接支払事業推進交付金	交付金	・当該事業を行うための事業費を交付（交付先：市町村） ・スマート農業機械の展示会を 2 月（長野市）、3 月（飯田市）に実施、スマート農業加算活用の手引きを作成し、配布。 ・市町村数：40 ・展示会来場者数約350人、冊子制作数：2,500部		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	山村等振興対策事業		5,000 千円	0 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション整備事業のうち定住促進・交流対策型）	交付金	市町村が行う農山村の活性化のための地域間交流の促進事業（都市農村交流施設等）への支援 施設整備：0 件		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	中山間地農業ルネッサンス推進事業		2,328 千円	9,819 千円	13,570 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	中山間地農業ルネッサンス推進事業	交付金 直接	中山間地域の特色を活かした、地域別農業振興計画を深化させる取組及び農業生産活動を地域活性化につなげるモデルを創出するための取組への支援 モデル地域創出：5 地域		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	農村型地域運営組織（農村 RMO）形成推進事業		24,013 千円	33,610 千円	28,494 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	農村型地域運営組織（農村 RMO）形成推進事業	交付金 委託 直接	県内における農村型地域運営組織（農村 RMO）の形成を推進するため、対象地域を新たに 2 地域追加し、地域住民主体の活動を伴走支援 農村 RMO の形成：7 地域協議会（累計）		

細事業 No.	細事業名	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
5	中山間地域魅力創出事業	- 千円	553 千円	600 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	中山間地域魅力創出事業	補助金 直接	地域特性を活かした新品目の導入、都市農村交流事業等、集落住民が主体となっ て取り組む活性化活動を支援	
			支援件数：2件	